

高級 城かべ

(大袋20kg・小袋4kg)

- 純白できめ細かく、独特の美しい艶を持つ高級城かべ。室内の繊細な仕上げも難無くこなします。
- 本磨き、吹き付け、パターン付けなど、多彩な表現も得意とするところです。
- 紙スサの使用でノビ、水保ちが良く、抜群の作業性。
- 彫刻、蛇腹引きの素材としても使いよい。
- 他のシリーズ品の本磨き仕上げ材としてもご活用下さい。



商品概要

- | | |
|------|----------------------------------|
| ①品名 | 高級城かべ 高級城かべ小袋 |
| ②性状 | 白色粉末 |
| ③主原料 | 消石灰、粉末糊料、植物繊維 |
| ④荷姿 | 20kgクラフト防湿袋 (小袋：4kgポリ袋ケース8袋詰) |
| ⑤用途 | 壁上塗り(磨き)、吹き付け・ローラー仕上、彫刻・蛇腹引き |
| ⑥用法 | 清水約15Lにて混練 コテ塗り |
| ⑦塗面積 | 20㎡(6坪)/1.2mm(小袋：4㎡(1.2坪)/1.2mm) |



田川産業株式会社

城かべ



高級 城かべ

施工要領

1. 混練

- ① きれいな練り船に高級城かべと清水15ℓをいれて、練り楾で充分練りあわせませう。
(ハンドミキサーご使用の場合、容器には水を先にいれておくと練りやすくなります。)
- ② 油、ボンド等は水で練り上げた後に混入して、改めて充分練ってください。
- ③ 混練後1～2日置いておくと良く馴染み、塗りやすくなります。

2. 下地処理

- ① 左官下地は完全に養生し、乾燥させて、ボード類は目地処理をしておきます。
- ② 表面をきれいに清掃して、シーラー引きか水打ちをして下さい。
- ③ 完全な仕上にする為には、砂しつくい(城かべ中塗り、城かべ屋根しつくい)で下ごすりをしておき、生乾きのうちに追いかけて仕上げて下さい。

3. 塗り付け

- ① はじめに下地に食い込むように全面に薄くしごき塗りして、2回目に厚みを揃えて下さい。
- ② 表面が半乾きの状態で金ゴテで押さえていきます。コテ押さえの回数で壁の硬度と耐久性が決まりますので、少なくとも2～3回は丁寧に押さえてください。
- ③ 仕上がり後、適当な通風をして徐々に乾燥させます。

※ 磨き仕上げ

- ① 高級城かべを100メッシュ程度の網でふるったものを水で練って、ノロを作ります。
- ② ノロを上塗りが乾かないうちに薄く伸ばして、磨きコテで満遍無く押さえます。
- ③ 水気が無くなり、コテがつかなくなったら手でこすって艶を出してください。
- ④ 一度艶が出たらネル布でこすって艶を消して、再度手ごすりすると艶が長持ちします。

※ 吹き付け、ローラー仕上げ ● 施工の手引きを参照してください。
彫刻・蛇腹引き

試験項目(試験方法)

①安定性試験 (JIS-A-6902)	②表面硬度 (JIS-A-6904, 6908)	③接着強度 (JIS-A-6909)	④耐候性試験 (JIS-A-5400 ウエザーメーター)	⑤凍結融解試験 (-30℃～80℃ 10サイクル)
合格	2.3	2.0kgf/cm ²	異常無し	異常無し

施工上の注意

- ① 外壁や水がかかる箇所への施工には必ず「城かべ油」を添加してください。
- ② 材料を1週間以上練り置く場合は糊剤(粉末銀杏草)を追加してください。
- ③ 土中塗りや付着しにくい下地には必ずシーラー引きを施してください。
- ④ コテ押さえはなるべく金ゴテを使用し、プラスチックゴテは磨きだけに使用してください。
- ⑤ 冬期は白華が出やすいので成るべく保温をし、5℃以下の場合施工を避けてください。

製造



田川産業株式会社

〒826 福岡県田川市大字弓削田1924番地
TEL 0947-44-2240
FAX 0947-44-8484